平成30年第２回可児市議会定例会　一般質問通告一覧表　６月７日（８日・11日）

No.	質問者	質　問　項　目　（答　弁　者）
１	澤野　伸 （誠颯会）	１．本市の立地適正化計画策定の考えは（企画部長･建設部長） 一括答弁方式 都市再生特別措置法を改正し、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトなまちづくりを推進するための「立地適正化計画」を制度化した。本市の考えは。 ２．「子供110番の家」制度を見直す（総務部長・教育委員会事務局長） 一括答弁方式 子どもが犠牲になる凶悪事件は後を絶たない現状、地域の目が届きにくい場所や学校から帰宅した後の時間帯への対処など課題はつきません。今一度子どもの安全を守るため、「子ども110番の家」についても再考してみる。
２	酒井　正司 （誠颯会）	１．岐阜医療科学大学学生受け入れ準備とまちづくり（企画部長・福祉部長・建設部長） 一問一答方式 岐阜医療科学大学可児キャンパス開設に伴う大学との連携や、西可児駅前駐輪場、地域包括支援センター等のハード面整備、空き家再生に伴う「空き家再生プロ集団」との連携や学生への影響について、本市の見解を問う。 ２．人生100年時代の高齢者層不安解消策を（企画部長･福祉部長･こども健康部長） 一括答弁方式 人生100年時代と言われるようになりました。これを寿ぎ、可児市が標榜する住み心地一番があまねく、とりわけ高齢者層にも及ぶ方策について伺う。
３	伊藤　健二 （日本共産党可児市議団）	１．緊急情報の取得はどこまで充実したか（総務部長） 一問一答方式 昨年の総務企画委員会代表質問で、豪雨災害時に本市が避難指示を発令した対応の教訓と課題を解明した。必要な避難情報を迅速確実にどう届けるのか、情報弱者を含めた対策の到達点を問う。 ２．リニア工事は課題山積～工事日程の公開を（市民部長･建設部長） 一括答弁方式 環境破壊と住民無視が心配される「リニア中央新幹線計画」の建設工事・準備作業について、工事予定を公開させ、本市の安全対策を問う。

No.	質問者	質　問　項　目　（答　弁　者）
4	冨田　牧子 （日本共産党可児市議団）	1．就学援助と奨学給付金（教育委員会事務局長） 一問一答方式 長年の要望であった就学援助の新入学用品費が平成 31 年 3 月支給となった。しかし、本年 10 月から生活保護基準の引き下げでどうなるのか。また就学援助は中学で切れるので、高校奨学給付金について考慮すべきでは。 2． 特別教室にも空調整備を（教育委員会事務局長） 一括答弁方式 本市では、平成 26 年、27 年にわたって、小中学校の普通教室に空調整備を行ってきたが、パソコン室以外の特別教室への設置がない。暑い夏の到来を前に、特別教室へも空調整備を進めるべきだ。
5	髙木　将延 （誠颯会）	1．学校規模適正化について（教育長・企画部長・教育委員会事務局長） 一問一答方式 本市は地域により人口構成に大きな違いがあり、小中学校においては大規模校、小規模校の二極化が進んでいる。学校規模適正化に向け、より具体的な方針を示す時期に来ていると考えるが、本市の見解を問う。
6	天羽　良明 （誠颯会）	1．安全な自転車通学を実現するために（総務部長・建設部長・教育委員会事務局長） 一括答弁方式 住みよいまちづくりのため、自転車利用者の通学路の安全を確保しなければならない。地域ごとの危険箇所の洗い出し及び改善を進めるべきと考える。また、運転者への自転車教育が重要だ。
7	田原　理香 （誠颯会）	1．住民が自らの健康づくりのために、ウオーキング（散策）しやすい環境を整えることについて（こども健康部長・建設部長） 一括答弁方式 市はウォーキングなどによる健康増進を市民に奨めている。休憩や交流のためのベンチなどハード面や散策することで得られる楽しみづくりというソフト面での整備を推進し、どのように充実させていくかを問う。 2．東美濃ならではの観光推進と地域力を生かした観光交流について（企画部長・観光経済部長） 一括答弁方式 東美濃観光交流において、各自治体は集客に努めているが、6 市 1 町の住民が何故「東美濃」なのかを理解し、更なる東美濃地域の一体感づくりにつなげ、地域自慢・いいとこ探しといった地域力を活かした観光推進を。

No.	質問者	質　問　項　目　（答　弁　者）
8	板津　博之 （誠颯会）	1．大河ドラマで観光交流人口増加を（企画部長･観光経済部長･建設部長） 一括答弁方式 2020 年に放送される大河ドラマが明智光秀を主人公とした『麒麟がくる』に決定した。明智光秀ゆかりの地である本市としては観光交流人口増加の絶好のチャンスだと思われるが、本市の観光振興策を問う。
9	山田　喜弘 （可児市議会公明党）	1．各地区センターの施設及びホームページについて（企画部長･市民部長） 一問一答方式 本年４月１日より市内 14 か所の公民館が地区センターとなった。各地区センターの通路とトイレの床との段差解消やホームページの記載内容について本市の見解を求める。 2．清流の国ぎふ健康ポイント事業の連携を（こども健康部長） 一括答弁方式 本年度、岐阜県は「清流の国ぎふ健康ポイント事業」を創設した。県民の自主的な健康づくりをポイント化し、ポイントで特典が得られる。県との連携について本市の見解を問う。
10	中村　悟 （真政会）	1．３期目出馬の決意を問う（市長） 一括答弁方式 今年度は、観光広域連携、岐阜医療科学大学開設、地区センター化、マーノ開館等新規事業がスタートした。長期的展望に立った課題の多い案件ばかりである。熱意をもって推進してほしいがその意気込みはどうか。 2．「東美濃」への取り組みを問う（企画部長） 一括答弁方式 朝の連続テレビドラマ「半分、青い。」や 2020 年大河ドラマで明智光秀が取り上げられるなど「東美濃」はまさに全国的にも注目の的となっています。このチャンスを執行部はどう受け止めているのか。

No.	質問者	質　問　項　目　（答　弁　者）
11	野呂　和久 （可児市議会公明党）	１．同報系防災行政無線と被災者支援システムについて（総務部長） 一括答弁方式 同報系の防災行政無線は、市内の防災・防犯や行政事務などの情報を市民等に伝達する手段として運用されている。旧スプリアス規格の使用期限が平成 34 年 11 月 30 日とされている。本市の対応を問う。 ２．「在宅医療･介護連携推進事業」について（福祉部長） 一問一答方式 在宅医療・介護連携推進事業は、平成 27 年度より介護保険法の地域支援事業として位置づけられた。平成 30 年度から全国の市区町村で主体的に取り組むことが求められている。本市の取り組み状況を問う。
12	渡辺　仁美 （市民の声）	１．観光交流の今後の展望について（企画部長） 一括答弁方式 観光交流人口の増加に向けて取り組んできた可児市にとって NHK 朝の連続ﾃﾚﾋﾞ小説「半分、青い。」と大河ドラマ「麒麟がくる」の到来は千載一遇の好機である。それをとらえてなお、持続可能な観光への方策を尋ねる。
13	山根　一男 （市民の声）	１．『可児そだち』の認知度を拡げてゆくには（観光経済部長） 一問一答方式 当市の地域ブランド戦略の代表的なものは『可児そだち』である。平成 23 年の導入以来８年目となるが、その成果と課題、今後の展開について問う。 ２．より公平な児童発達支援事業のあり方（福祉部長） 一問一答方式 児童発達支援を必要とする児童が増え続けている。障がいのある子どもの早期発見・早期療育は当市の重点的な取り組みの一つであり、くれよんと、市内の児童発達支援事業所の利用条件は統一すべきではないか。

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。